

平成30年度 指定管理者導入施設評価表

施設名称	峰の原高原クロスカントリーコース	所管課(TEL)	商業観光課 (026-248-9005)	
所在地	須坂市大字仁礼字峰の原 3153-654	設置年月	平成16年7月	
施設設置目的	スポーツによる地域振興			
施設概要・設備	コース延長2km(芝、全天候型)、管理棟、選手休憩場、雷避難放送・避雷針設備等			
指定管理者名(選定方式)	須坂市峰の原高原クロスカントリー場維持管理組合			
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日			
指定管理者の主な業務	入場者受付、施設の維持管理。			
施設の利用状況	利用区分等	利用目標	利用実績	対前年比(%)
	入場者数	20,000	20,567	102.8
	利用料	2,565,000	3,045,830	118.75
	(特記事項) 前年同様、入場者数の約3分の2は8月。			
指定管理者の 予算及び決算	項目	予算額(円)	決算額(円)	
	指定管理料	5,356,000	5,356,000	
	利用料収入	2,565,000	3,045,830	
	支出額合計	8,262,736	8,847,078	
	(特記事項)			

2 市（担当課）による評価（評価は非常に良い◎、良い○、やや悪い△、悪い×の4段階です。）

協定書及び指定管理者の事業計画書の内容に基づいて、その水準が達成されているかを市が点検・評価したものです。評価の手段は、実績報告書（毎月）及び事業報告書（年度終了時）の点検並びに立入検査（随時）等によるものです。

項目	指 標	評価	評価に対する説明
管理状況	開館時間、休館日の運用	◎	適正であった。
	法令の遵守	◎	適正であった。
	適正な人員配置	◎	適正であった。
	職員の労働環境確保	◎	適正であった。
	職員の研修・教育	◎	適正であった。
	文書・帳簿の管理保存	◎	適正であった。
	報告書等の提出	◎	適正であった。
	口座管理・経理	◎	適正であった。
	施設の使用許可・条件	◎	適正であった。
	備品の管理	◎	適正であった。
	清掃業務	◎	適正であった。
	環境への配慮	◎	適正であった。
危機管理対策	緊急事態の対応	◎	適正であった。
	安全への配慮	◎	適正であった。
	個人情報の保護	◎	適正であった。
	施設設備の保守管理	◎	適正であった。
	重要事項の報告・連絡・届出	◎	適正であった。
	保険の加入	—	市において加入
	管理物件に対する損害賠償等	—	該当なし。
運営状況	施設利用状況	◎	過去2番目に多い入場者数となった。
	自主事業実施状況	—	管理業務のため該当なし。
	地域との連携	◎	適正であった。
	その他取組み	—	特になし。
	管理に係る収支状況	◎	適正であった。
	自主事業に係る収支状況	—	該当なし。
	サービス向上への取組み	◎	適正であった。
	PR等広報活動	◎	適正であった。
	苦情・要望への対応	◎	適正であった。

3 利用者による評価

指定管理者が行なった利用者アンケートの結果及び、担当課に寄せられた利用者からの意見・要望等によるものです。

利用者アンケートの結果	実施時期	実施せず	
	調査対象		
	調査方法		
	調査結果		
利用者からの意見・要望・苦情等	<ul style="list-style-type: none"> ① 最盛期の8月は、利用者が多く混雑している。 ② 雨の日は、芝コース等が使用できなかったが、全天候型走路の整備により利用しやすくなった。 		

4 指定管理者による自己評価

指定管理者自身による自己評価です。

平成30年度の自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ① 混雑時、走者の流れに気を配り、利用者の安全管理を行った。 ② 走路周辺及び場内の笹刈り等を行い、高山植物の保護と害獣の侵入を防いで安全対策を進めた。 ③ 新コース設置工事に伴い、利用者の安全確保及び工事関係者に協力した。
-------------	--

5 市（所管課）による総合評価

<p>8月の入場者は例年1万人を超える中、芝の管理等を行い施設の維持管理を適正に行われている。</p> <p>全天候型走路増設工事の施工に伴い、利用者の安全確保や、施工に協力いただいた。</p> <p>引き続き、利用者が利用しやすい環境を維持しながら管理していただきたい。</p>
--